

介護報酬と介護職従事者の賃金

—2009年の介護報酬引上げは介護職従事者の賃金を高めたのか

Political price-change in Japanese Eldercare Industry and Wage-change

小林 徹*

<要旨>

本稿では2009年度の3.0%の介護報酬引上げが介護職従事者の賃金にどのような影響を与えたか、また東京都江戸川区と千葉県市川、浦安市という近隣地域間における10%程度の介護報酬上乘せ割合の違いが介護職賃金にどのような影響を与えているかについて分析を行った。分析の結果明らかになったことは以下の点である。

第一にはパネルデータによる分析でも2009年の介護報酬引上げが、介護職従事者の賃金を高めている様子は確認されなかった。介護サービスの価格である介護報酬が高まっても、約3.0%の引上では全国的な賃金増が確認されるほどの大きなインパクトは持っていなかったと考えられる。しかし介護労働実態調査の事業所票の集計結果を見る限りでは、2009年以降介護サービス事業所の経営状況の改善など、賃金を引上げに向かう環境は整ってきている。しかし2009年以降においても、約半数の事業所は賃金が改善できるほど介護報酬が高くないと回答しており、全体的な介護職従事者の賃金増が確認できるまでには至らなかったものと思われる。

第二に、近隣地域で介護報酬が大きく違うことを利用して、約10%程度の介護報酬の開きがあれば、介護職賃金にまで影響が及ぶかどうかを分析したが、それでも介護職賃金が高まっている様子が確認されなかった。介護報酬の引上げによって介護労働者の雇用環境を改善し、労働力確保に向かわせるためには、少なくとも10%超の大幅な引上げが求められるのかもしれない。

キーワード：40-03 賃金・退職金、90-02 社会保障制度・政策、30-03 労働市場

* 慶應義塾大学産業研究所共同研究員
〒357-0035 埼玉県飯能市柳町23-5-508、080-6015-7631、toru7631@gmail.com